

# 三内丸山通信

今年も

## 三内丸山遺跡

に注目!



（集落の全体像を明らかにするための発掘調査や研究を今年も継続していきます。このほか様々な情報発信もおこなっていきます。）

### 発掘調査

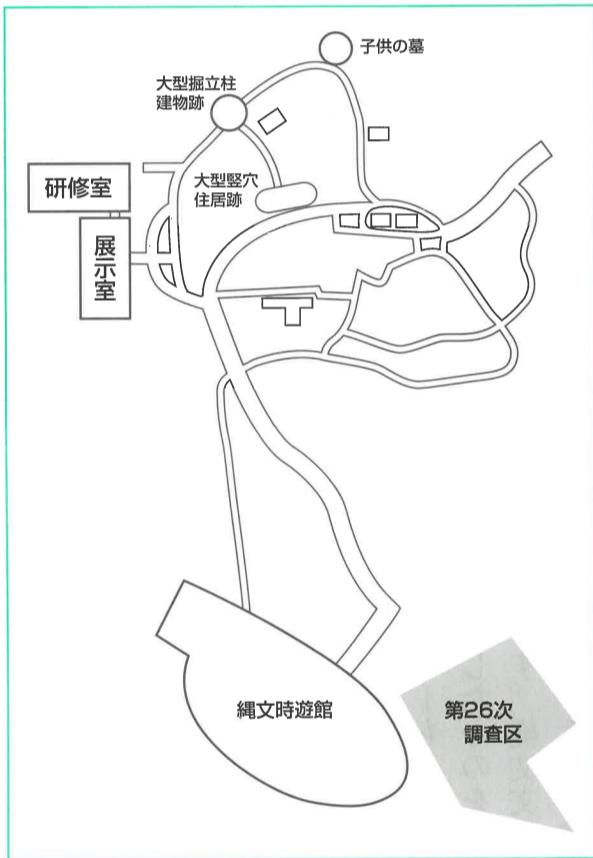
今年度も集落の全体像を明らかにするため、発掘調査を行います。

今年度は、1地点で第26次調査を行う予定です。昨年度に調査した第23次調査区に隣接する地区で行います。遺跡の西側にあたるこの地区では、これまでの調査で、列状に並ぶ墓や環状配石墓（ストーンサークル）、これに沿うように延びる道路跡が、長さ約260メートルにわたって見つかっています。

これらがどのように広がっているのか、さらに詳しく調査します。発掘調査は5月下旬から9月上旬までの予定で行います。縄文時遊館の「時遊トンネル」を通り、遺跡へ出た場所から、発掘調査の様子を臨むことができます。



昨年検出された道路跡（中央のくぼんでいるところが道路跡）



今年度の発掘調査区

### 日中共同調査

東アジアからの視点で縄文文化、三内丸山遺跡の研究をすすめるために、青森県教育委員会などで組織される調査団と中国社会科学院考古研究所は中国内蒙古自治区興隆溝（こうりゅうこう）遺跡で共同調査を行っています。

調査は今年で3年目となり、夏ごろに実施される予定です。

### 特別研究

三内丸山遺跡では特別研究推進事業を行っています。三内丸山遺跡や円筒土器文化に関する個人研究を6件、共同研究を1件、毎年公募しています。これまでの研究成果の概要はホームページや年報でみる事ができます。年報は青森県立図書館や県内各市立図書館にあります。



昨年の東京シンポジウム

### 情報発信

6月1日から7月27日まで青森県立郷土館において開催される「青森県の文化財展」に、新指定重要文化財の三内丸山遺跡出土品が展示されます。

12月21日には東京の朝日ホールにおいて恒例のシンポジウムを開催します。詳細はあらためてお知らせします。

楽しい企画満載の「雪ランド」は2月7・8日に開催予定です。

今年度の発掘調査成果や特別研究の成果は3月14日の遺跡報告会で発表する予定です。

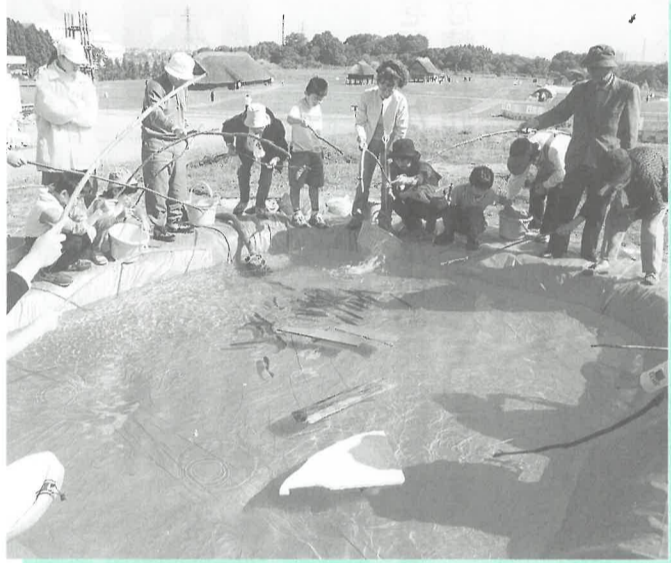
その他の催し物は随時お知らせします。



新緑の三内丸山にようこそ

### 三内丸山遺跡のご案内

- 遺跡内展示室・遺構の公開時間  
9時～18時（4～10月）
- 時遊館の開館時間  
9時～19時（4～10月）
- 開園時間  
9時～19時（4～10月）
- ボランティアガイドの定時案内  
1回目は9時15分から  
その後は10時から1時間ごと  
（7月26日～8月17日は30分ごと）  
最終は16時から
- 交通手段  
青森市営バス  
JR青森駅から  
「運転免許センター行き」  
三内丸山遺跡前で下車



昨年の「海の考古学」の様子

今年も三内丸山遺跡では、縄文時代の生活に触れることができ、体験したい！

1回コースには3つのメニューがあります。「三内丸山遺跡探検」では遺跡内の植物観察を通して、縄文時代の自然環境と生活とのかわりについて学習します。「石器作り」では黒曜石で石器を作り、石器がどのようにに利用されていたのかを体験します。「レプリカ作り」では、遺跡から出

いろいろ体験したい！

今年も三内丸山遺跡では、縄文時代の生活に触れることができ、体験したい！

# 縄文時代の技に挑戦

# 体験学習

うまくてきるかな？

土した実物を型どりして、本物そっくりの複製品を作ります。展示室で見ただけのことが多い出土品を自分の手で触り、じっくりと観察することが出来ます。

2回コースには3つのメニューがあります。「土偶作り」では、遺跡から出土した土偶と同じ粘土を使って形をつくり、それを野焼きして完成させます。「住まいの考古学」では、野外で人が入れるような堅穴

じっくりと体験したい！

4回コースでは、「土器作り」をします。土偶作りと同様、粘土は遺跡から出土した土器と同じ粘土を使います。1回目は粘土をこね、模様をつける縄を作り

住居を作ります。柱を立て、カヤで屋根を作って完成させます。「海の考古学」では、シカの角を削って釣り針を作り、魚釣りに挑戦します。

みんな来てね！



どのメニューも三内丸山遺跡で出土したものを参考にしています。縄文文化に触れることができる体験学習に、ぜひご参加下さい。

ます。2回目は粘土で形を作り、模様をつけます。3回目は乾燥させた土器を野焼きして完成させます。4回目は火を起こし、完成させた土器を実際に煮炊きに使ってみます。縄文時代の人々が、土器をどのように作り、どのように利用して生活したのかをじっくりと体験することが出来ます。

三内丸山通信が30号!! をむかえました。

平成8年3月の第1号の刊行から、7年。このたび30号を刊行することができました。これからも発掘調査の成果や最新情報などをお届けしていきますので、よろしくお願ひします。

## 体験学習のメニューはこちら

### 1回コース

実施日	時間	メニュー	内容	申し込み期間	定員	備	考
6/28(土)	午前10時から正午	三内丸山遺跡探検	三内丸山遺跡周辺の植物を観察します。 ※1(講師:辻誠一郎氏)	6/20(金)まで	30人	雨天時は雨具持参	
7/12(土)	午前10時から午後3時	石器作り	黒曜石で石器を作ります。 ※2	7/4(金)まで	50人	雨天時は雨具持参	
9/20(土)	午前10時から午後3時	レプリカ作り	遺物の複製品を作ります。 (講師:堀江武史氏)	9/12(金)まで	20人		

### 2回コース

実施日	時間	メニュー	内容	申し込み期間	定員	備	考
6/14(土) 7/26(土)	午前10時から午後3時	土偶作り1・2	6/14は粘土で土偶を作ります。7/26は、6/14に作った土偶を野焼きします。 ※1 ※2	6/6(金)まで	50人	7/26の野焼きは雨天順延(7/27・8/23・8/24のうちいずれか)。	
8/30(土) 31(日)	午前10時から午後3時	住まいの考古学1・2	堅穴住居を作ります。 ※1(講師:高島成侑氏)	8/22(金)まで	20人	雨天の場合、ミニ住居作りなど	
10/11(土) 12(日)	午前10時から午後3時	海の考古学1・2	釣り針の製作と魚釣り体験 ※1(講師:市川金丸氏)	10/3(金)まで	50人	雨天時は雨具持参	

### 4回コース

実施日	時間	メニュー	内容	申し込み期間	定員	備	考
5/10(土)	午前10時から午後3時	土器作り1	三内丸山遺跡と同じ土で生地を作り、模様をつけるなわを作ります。 (講師:菅田実氏)	申し訳ございませんが締め切りました			
5/31(土)	午前10時から午後3時	土器作り2	粘土で土器を作ります。 (講師:菅田実氏)	5/23(金)まで	50人	作品は7/26の野焼きで完成。	
7/26(土)	午前10時から午後3時	土器作り3	5/31に作った土器を野焼きします。 ※1 ※2	「土器作り2」に参加された方のみ		雨天順延(7/27・8/23・8/24のうちいずれか)	
7/27(日)	午前10時から正午	土器作り4	火を起こし、土器で煮炊きをします。 ※1 ※2	「土器作り2・3」に参加された方のみ		雨天順延(8/23・8/24のうちいずれか)	

### お問い合わせ・お申し込み:

青森県教育庁文化財保護課 三内丸山遺跡対策室  
展示室  
TEL・FAX (017) 781-6078  
午前9時から午後4時30分まで受付

対象:小学生以上(ただし、団体での申し込みは受け付けておりません)

集合場所:三内丸山遺跡展示室内 研修室(旧体験学習館) 展示室においての際は、縄文時遊館から入場してください(駐車場は縄文時遊館前です)。

参加費:無料

持ち物:タオル、筆記用具、軍手、午後までかかる場合は昼食・飲み物(縄文時遊館には食堂があります)

服装:作業しやすい、汚れてもよい服装でお越しください。  
※1は屋外でも行いますので、帽子など日除けを準備してください。  
※2は長そで・長ズボンを用意してください。

その他:参加された方は、青森県民カレッジの単位が認定されます。

### 縄文時遊館内体験工房のご案内

団体及び個人を対象としたものはこちらです。毎日おこなっています。所要時間は1~2時間です。200円~1,000円の料金が必要となります。

メニュー
縄文ポシェット作り
編布(アンギン)作り
板状土偶作り
コハクのアクセサリ作り
まが玉作り
ミニ土偶作り
組ひも作りと火起こし

お問い合わせは  
縄文時遊館内 三内丸山応援隊  
TEL (017) 766-8282